

# 都市整備

## 歩きたくなるまちづくり



歩きたくなるまちづくり

**問** 拠点間を安全かつ快適に結ぶ遊歩道、自転車道の整備状況や今後の展望について。

**答** 遊歩道の総延長は約3・9キロメートル、自転車道は約15キロメートル整備されている。また、幅員に余裕のある道路に自転車通行帯の設置を行っている。今後、鶴ヶ島文化会館南側水路沿いの遊歩道化や共栄鶴ヶ島線の自転車通行帯の整備が予定されている。道路の新設や改築などの機会に、整備に努めていく。

**問** 歩きたくなるまちづくりの意義について。

**答** 国は、人口減少と高齢化を背景に、市街地の再構築に向けた取組として「歩きたくなるまちなかづくり」を推進している。本市でも、魅力的な地域資源を生かすとともに、公共交通のネットワークを充実させる「出歩きたくなるまちづくり」であると認識している。



むらかみ しんきち  
議員 村上 信吉



# 都市整備

## 市が管理している樹木の適正な管理について



樹木の適正管理を！

**問** 学校の樹木について。

**答** 植樹から数十年経過し、巨木化・老木化が進行している。今後も剪定や伐採を行い、関係者などの意向も確認しながら、樹木の総量を減らすなどの安全確保が必要である。

**問** 公園の樹木について。

**答** 巨木化や根上がりなど、対応すべき事案の特性を把握し、危険を未然に防ぐ管理が必要である。職員や造園業者の点検結果などを考慮し、優先順位をつけ、継続的に対応する。今後も計画的な管理を実施し維持管理をする。

**問** 道路の街路樹について。

**答** 経年による巨木化や老木化から生じる課題を踏まえ、安全確保を第一に、景観にも配慮して対応する必要がある。今後も、より有効な手法によって、適切な維持管理に努める。



おがわ しげる  
議員 小川 茂



# 都市整備

## ガーデンパークの振り返り 成功?失敗?



ガーデンパークを視察中！

**問** ガーデンパークの口コミに関して考察は。

**答** 口コミによる評価は、基準がなく、投稿者の趣味趣向に大きく左右されるなど、これを鵜呑みにして一喜一憂するべきではないと考えている。現在、軽便鉄道の車両が安全に走行できる体制の整備やナチュラルガーデンのワークショップ開催など、更なる魅力向上に取り組んでいる。将来的に、鶴ヶ島駅周辺まちづくり整備構想の一つの核として、エリア全体の魅力向上と集客などに大きな効果を発揮する施設に育てていきたい。

**問** 次の官民連携事業への学びは。

**答** 相手との信頼関係の構築や市と企業との間で共通認識を持つことの重要性を学んだ。今回の経験を活かし、地域の活性化や市民サービスの向上につなげていく。



おがわ ひろみ  
議員 小川 尋海

